

フランス ボルドー大学柔道チームが本学柔道部と交流試合

2016/04/27 [ニュース](#)

いいね! 0

[シェア](#)

[ツイート](#)

[メールで送る](#)



ミシェル・ブルース教授（フランス柔道連盟副会長）、ジャン＝ピエール・ミリオン コーチ（仏スポーツ資源・専門技術・競技力向上センター/ CREPS : des centres d'éducation populaire et de sport）率いるボルドー大学柔道チームは、10日間の筑波滞在最終日となる4月27日、「柔道の父」嘉納治五郎（写真額）の見守る中、本学柔道部と2度目となる交流試合を行いました。結果はボルドー大学側の2分6敗に終わったものの、日本の若手柔道家たちの前に互角の戦いを挑んだ8名の勇姿は、日本人学生のみならず道場に集まった他国からの留学生たちをも魅了しました。

一行は、滞在中、柔道部との合同稽古だけでなく、本学の講義も受講しました。特に増地克之准教授（柔道部監督）による柔道の形についてのワークショップは、フランスで学べる機会はほとんどないとのことで、熱心に聞き入っていました。

近年、フランスの柔道人口は日本のそれを上回り、“Judoka”の指導者育成にも力を入れています。筑波大学は、ボルドー大学と全学協定を締結しており、体育・スポーツに関する教育・研究組織を有する日本唯一の国立総合大学として、今後、自他共栄の精神を通じ、同大学との学術交流に発展していくことが期待されます。



ボルドー大学柔道チーム